

# 絵をよむ。 物語をみる

—日本画家たちの描く物語—

父を討たれた兄弟。  
その後の話を  
知っていますか？



## 【日本の歴史】

右：横山大観《曾我兄弟》部分 1909年  
左：菱田春草《五郎時致》部分 1894年

父親を暗殺された幼い兄弟は、敵討ちを誓います。  
機会を待つこと約20年、ふたりは遂に本懐を果たしました。



2018年

6月5日(火)  
7月29日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時30分(最終入館午後5時)

休館日 毎週月曜日(但し7月16日(月・祝)開館、17日(火)振替休館)

入館料 一般800円 中・高校生600円 小学生300円

※20名以上の団体は各1000円引

※小・中学校が授業の一環として利用する場合は無料

※小・中学生は毎週土曜日無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、  
付添1名は半額(要手帳提示)

※お着物でご来館の方は半額

公益財団法人

## 水野美術館



## 【中国詩人】

橋本閑雪《陶淵明帰去来之図》1916年頃

高い身分と役職を捨て、郷里の田園に帰る陶淵明。その後、隠遁生活を送りながら多くの詩文を残しました。



川合玉堂《月下鳴鹿》部分 1901年  
牝鹿を求める牡鹿の鳴き声は、秋の寂寥感を伝える定番モチーフ。万葉集や今昔物語に登場します。

## 【和歌の世界】



## 【演じる物語】

中村貞以《鏡獅子》1942年頃

可憐に舞う小姓の弥生。憑依する手獅子の魂に抗いますが、やがて獅子の精へと変化します。



中国と日本の行事が融合したという七夕伝説。女性たちは、針に鮮やかな糸を通して針仕事の上達を願いました。

## 【中国伝来の物語】

菊池梨月《七夕を巧》大正初期



右：下村観山《弁才天》1906～1912年頃  
左：横山大観《布袋》1902～1906年頃  
インド神話の女神と中国の仏僧が、幸せを願う日本人によって、福の神へと変化。

水野コレクション

# 絵をよむ・物語をみる

日本画家たちの描く物語

神話や歴史などの物語は、日本画の主題として多くの作品に描かれています。

そこで本展では「物語」をテーマに、近代から現代までの日本画を紹介。描かれた物語の内容や、登場する人物モチーフの秘密に迫ります。

さらに、水野美術館と縁ある現代作家や作品にまつわるエピソードを特集します。絵画をつうじて生まれた、当館ならではの物語にもご注目ください。

小説や絵本を楽しむように、物語に満ちた作品をご堪能頂ければ幸いです。

## 【七福神】

## 交通のご案内



**バスを利用の場合**  
JR長野駅下車、東口から長電バス「日赤・水野美術館行き」乗車約10分「水野美術館」下車

**車を利用の場合**  
[無料駐車場80台]  
上信越自動車道「長野インター」から約15分

公益財団法人  
**水野美術館** ZENKOJI TAIRA ART MUSEUM  
善光寺平アートライン  
〒380-0928 長野市若里6-2-20 Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311  
http://www.mizuno-museum.jp

入館料  
割引券

100円引

※会期中1枚につき1名様のみ有効  
※他の割引券との併用はできません

イベント ※各回とも申込不要・参加無料 ※要当日有効の入館券

## 親子鑑賞会「物語を見つけよう！」

学芸員と話をしながら、絵にかくされたストーリーを探しましょう。大人の方だけの参加も大歓迎です。

- 日時：6月23日(土) 11:00～
- 場所：水野美術館 展示室

## 学芸員によるギャラリートーク

- 日時：7月15日(日) 10:30～
- 場所：水野美術館 展示室

次回展 特別企画展 安野光雅のせかい「ふしぎなえ」から「旅の絵本」  
同時開催 / 水野コレクション 自然と暮らし  
会期：2018年8月4日(土)～9月24日(月・振休)

facebook 随時更新中! 水野美術館で検索